



2021年7月1日

アフリカの子どもたちの栄養不良を改善する活動を支援 2020年度『ハッピーミルクプロジェクト』 ユニセフに2,160万8,502円を寄付

コフデリ生活協同組合連合会(本部:埼玉県さいたま市、理事長:土屋 敏夫、会員生協:関東信越7生協)は、アフリカの子どもたちの栄養不良を改善する活動を支援する『ハッピーミルクプロジェクト』(2020年度)で集まった2,160万8,502円を、公益財団法人日本ユニセフ協会に寄付いたしました。寄付金は日本ユニセフ協会を通じて、コートジボワール共和国の栄養改善プログラムと自然災害や紛争で苦しむアフリカ諸国の子どもたちのために使われています。

6月30日(水)、ユニセフハウスにて、寄付金贈呈式を執り行いましたのでご報告させていただきます。



日本ユニセフ協会早水研専務理事(右)とコフデリ連合会土屋敏夫理事長(左)

『ハッピーミルクプロジェクト』は、コフデリグループの社会貢献の取り組みの一つとして2008年度に始まりました。コフデリの牛乳の売り上げの一部をユニセフに寄付し、アフリカの子どもたちの栄養改善をサポートする取り組みで、3年単位で実施しています。

2008年度から2013年度はモザンビーク共和国、2014年度から2019年度はシエラレオネ共和国を支援し、支援対象地域の栄養改善の取り組みが大きく前進しました。2020年度からコートジボワール共和国に支援先を変更し、新たなプログラムに取り組んでいます。また2017年度からは、指定した支援国に加え、「アフリカ栄養危機緊急募金」にも寄付を開始し、自然災害や紛争で苦しむアフリカの子どもたちにも対象を広げています。

寄付金贈呈式では、2020年度にお買い上げいただいた牛乳7,611万1,930本分に該当する1,522万2,386円に加え、宅配を通じて寄せられた募金638万6,116円を合わせた計2,160万8,502円分の目録を日本ユニセフ協会へ贈呈いたしました。

『ハッピーミルクプロジェクト』の概要につきましては、次頁をご参照ください。

< 『ハッピーミルクプロジェクト』 概要 >

【2020 年度 期間】 2020 年 3 月 21 日(土)～2021 年 3 月 20 日(土)

【対 象 品 目】 CO・OP マークのついた牛乳(全 24 種類)

※写真は一例

※コープにいがたは魚沼牛乳も対象、コープクルコはゆめっ子牛乳・虹っ子牛乳各 1000ml も対象

【寄 付 金 額】 2,160 万 8,502 円(2008 年度～2020 年度累計 2 億 3,532 万 5,912 円)



※牛乳を通じた募金のほか、宅配を通じて募金を受け付けています。

■コートジボワール共和国の子どもたちの状況

コートジボワール共和国は、2002 年から約 9 年間の内戦を経験しました。内戦の影響は色濃く、5 歳未満の子ども死亡率が 1,000 人中 81 人と非常に高い国です。毎年 70,000 人以上の子どもが命を失っていて、その約半数は栄養不良が原因で亡くなっています。



(c)UNICEF/UN0150226/Dejongh

■主な支援内容

コープデリのサポートするプログラムでは、品質の良い栄養補助食品を低コストで生産できる製造所をつくり、子どもたちに与えることで栄養改善を進めます。また多くの母親に栄養改善に必要な知識を広げ、栄養不良を予防します。2020 年は同国でも新型コロナウイルスの感染が拡大し、取り組みに遅れが生じています。感染の勢いが収束次第、プログラムを進める予定です。

『ハッピーミルクプロジェクト』の詳細は公式サイトをご参照ください。

URL : <https://sustainability.coopdeli.coop/four-project-milk.html>

コープデリ生活協同組合連合会 概要

【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸 1-4-13

【理 事 長】 土屋 敏夫(つちや としお)

【会員生協】 コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、コープながの、コープにいがた、コープクルコ

【総事業高】 6,286 億円(7 会員生協事業高計) ※2020 年度

【組合員数】 516 万人(会員生協組合員計) ※2021 年 6 月 20 日現在

【ホームページ】 <https://www.coopnet.jp/>